



日進北小だより

平成30年 6月1日
第3号

TEL 048-663-1842

<http://nisshinkita-e.saitama-city.ed.jp>

学校教育目標

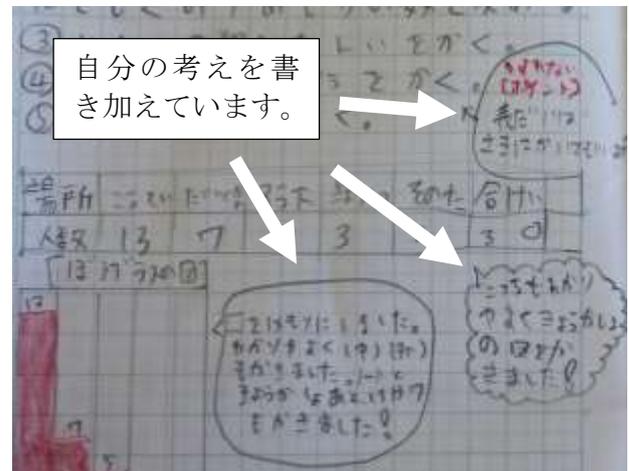
心身ともに健康で、自ら学び、自ら考え、判断し、行動できる子どもを育成する

「学びの足あと」を残す

校長 宇佐見 弘幸

去る5月18日(金)、三校親善球技大会が行われました。昨年度は本校が会場でしたが、今年の日進小学校が会場となりました。当日は、日進小、つばさ小、日進北小の三校の児童がミニバスケットボールで競い合いました。参加した六年生ですが、熱心に試合をしている姿のみならず、応援をしている態度、行き帰りの歩き方に大変感動しました。応援は、自分の学級だけではなく、他の学級に対してもみんな一つになって掛け声や歌を送ることができました。歩き方については日進駅から日進小学校まで七夕通りを歩きますが、路側の白線からはみ出すことなく整然と歩くことができました。「担任の先生からどのような指導を受けてきたの。」と質問すると「特に何も言われていません。」つまり、「自主的に歩いているのです。」という回答をとてうれしく思いました。

さて、新年度が始まって二か月が過ぎました。本年度も「学びの足あと」を残す取組を継続します。これは、児童が自分の考えを表現して、それを残すという取組です。全国学力学習状況調査の結果をもとにさいたま市立教育研究所からいただいた本校の学力向上のための助言の一つです。昨年度の三学期から始めました。具体的にはノートづくりを工夫してみるということです。はじめに自分の考えを積極的にノートに残します。次に、自分の考えを残したまま他の考えを書き加えます。集団で学習する中では、自分とは異なる意見、自分より優れた意見に出会うことが多くあります。この時に、自分の考えを消してしまわずに、書き足そうという考え方です。このことにより、自分の考えがどのように変わってきたのかを振り返ることができます。考えることが習慣化し、思考を深めることが期待できます。教室での実践が主となりますが、良いノートができれば、校長室にも持ってきてもらいます。



六月は、「いじめ撲滅強化月間」です。市内すべての学校がいじめの問題について真剣に考え、いじめが起きない集団や学校を作ろうとする意欲を高め、児童生徒の豊かな人間性や社会性をはぐくむ取組の充実を図るために設定されています。本校においてもスローガンづくりや簡易アンケートの実施などを計画しています。いじめについてご心配なときにはいつでもご相談ください。